



TYO 5290

株式会社ベルテクスコーポレーション

2022年3月期 2Q 決算説明資料

2021年11月11日

1

2022年3月 2Q 決算概要

P.02

2

第2次中期経営計画の進捗

P.11

参考資料

P.23

1 2022年3月期 2Q 決算概要

2. 第2次中期経営計画の進捗

参考資料

- 新型コロナウイルスの影響は引き続き軽微であり、売上高は概ね期初予想通りの結果となりました。
- 一方、ベルテクス(株)における販売単価の上昇や売上原価の低減などのシナジー効果が想定を上回り、各段階利益は期中に修正した業績予想をさらに上回りました。

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比		期初予想対比	
	実績	期初予想値	9月9日 修正予想値	実績	(率)		(率)	
売上高	15,046	16,000	16,000	16,318	1,272	8.5%	318	2.0%
営業利益	1,338	1,500	2,100	2,513	1,175	87.8%	1,013	67.6%
営業利益率	8.9%	9.4%	13.1%	15.4%	—	6.5%	—	6.0%
経常利益	1,541	1,600	2,240	2,644	1,102	71.5%	1,044	65.3%
経常利益率	10.2%	10.0%	14.0%	16.2%	—	6.0%	—	6.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,162	1,300	1,480	1,768	606	52.2%	468	36.0%
当期純利益率	7.7%	8.1%	9.3%	10.8%	—	3.1%	—	2.7%

1-2. セグメント別業績 まとめ

■セグメント別売上高

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比	
	実績	実績	(率)	
コンクリート	11,072	12,373	1,301	11.8%
パイル	1,758	1,218	△540	△30.7%
防災	1,288	1,730	442	34.3%
その他	999	1,038	39	3.9%
(調整額)	△72	△42	30	△42.1%
連結	15,046	16,318	1,272	8.5%

■セグメント別利益

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比	
	実績	実績	(率)	
コンクリート	1,486	2,491	1,005	67.6%
パイル	105	60	△45	△43.2%
防災	281	375	94	33.4%
その他	136	195	59	42.8%
(調整額)	△672	△608	64	△9.5%
連結	1,338	2,513	1,175	87.8%

※1 売上高は内部売上高を含む総売上高の数値を記載しております。
 ※2 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

1-3. 通期業績予想に対する進捗

■連結

(単位：百万円)	2022年3月期	2022年3月期 2Q	進捗 (率)
	通期予想	実績	
売上高	39,000	16,318	41.8%
営業利益	5,500	2,513	45.7%
経常利益	5,700	2,644	46.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,800	1,768	46.5%

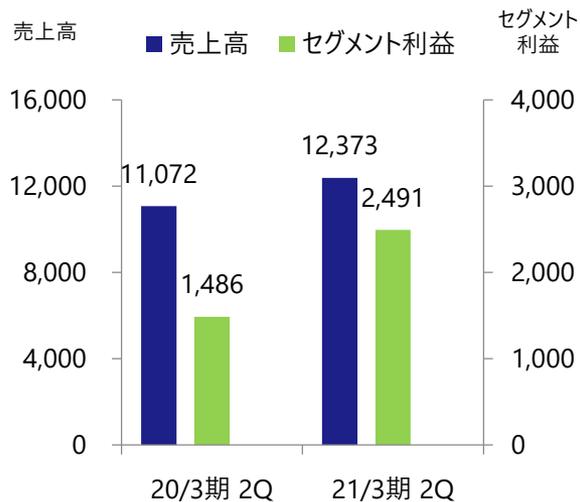
■セグメント別売上高

(単位：百万円)	2022年3月期	2022年3月期 2Q	進捗 (率)
	通期予想	実績	
コンクリート	29,200	12,373	42.4%
パイル	3,300	1,218	36.9%
防災	4,300	1,730	40.2%
その他	2,200	1,038	47.2%
(調整額)	0	△42	—
連結	39,000	16,318	41.8%

■セグメント別利益

(単位：百万円)	2022年3月期	2022年3月期 2Q	進捗 (率)
	通期予想	実績	
コンクリート	5,000	2,491	49.8%
パイル	130	60	46.2%
防災	1,230	375	30.5%
その他	440	195	44.3%
(調整額)	△1,300	△608	46.8%
連結	5,500	2,513	45.7%

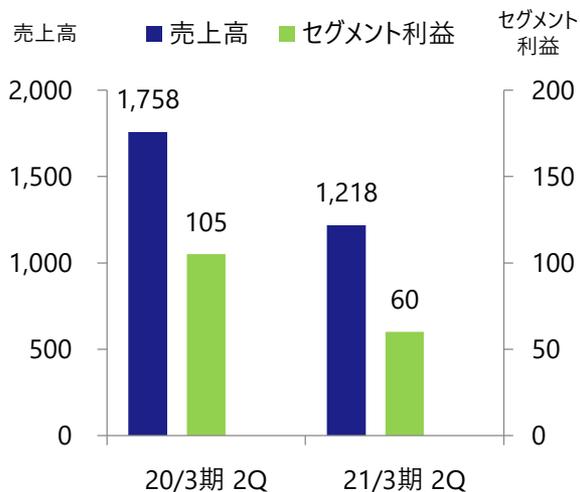
■ コンクリート



■ 業績の概要

- 建設業界におけるコンクリート製品のプレキャスト化の要望は高まりつつあります
- 当社グループでは、既存顧客との関係をさらに強固にすることに傾注したうえで、適切なコストダウンを図りつつ、低採算製品の取扱い見直しなどによって販売単価を上昇させました
- 今期は、東海及び北陸地区において大型特殊物件の出荷が重なりました
- 以上より、売上高は前年同期比 11.8%増の12,373百万円、セグメント利益は同 67.6%増の2,491百万円となりました

■ パイル

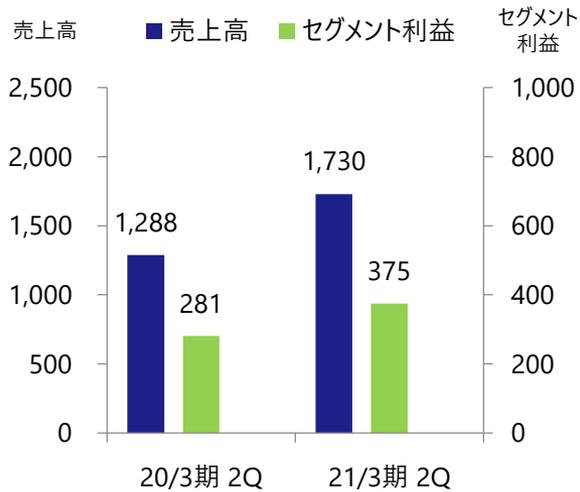


■ 業績の概要

- 新型コロナウイルスによる需要低迷からの回復が依然緩やかななか、人員の合理化を図って労働生産性を高めました
- Hyper-ストレート工法や節杭を用いたFP-BESTEX工法を中心に受注に努めたものの、十分な収益を確保するには至りませんでした
- 以上より、売上高は前年同期比 30.7%減の1,218百万円、セグメント利益は同 43.2%減の60百万円となりました

1-4. セグメント別業績 ② 防災事業、その他事業

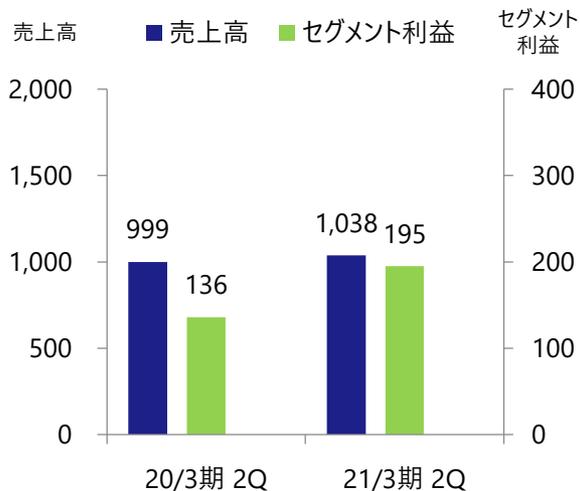
■ 防災



■ 業績の概要

- 山間部における落石災害対策が急務となっている状況に変わりはありません
- 当社グループでは、実物実験による研究開発にいち早く取り組みながら、市場におけるシェアを確保できるように、ループフェンス、MJネット等、今後の売上計上が期待される製品の受注活動を積極的に行いました
- 以上より、売上高は前年同期比 34.3% 増の1,730百万円、セグメント利益は同 33.4% 増の375百万円となりました

■ その他



■ 業績の概要

- セラミックス事業、賃貸事業、システム開発事業について、総じて好調に推移しました
- 以上より、売上高は前年同期比 3.9% 増の1,038百万円、セグメント利益は同 42.8% 増の195百万円となりました

1-5. 2022年3月期 2Q末 連結貸借対照表

- 引き続き安定した財務基盤を維持しております。

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
	実績	実績	
現預金	10,280	11,336	1,056
売上債権	9,809	10,930	1,120
棚卸資産	5,025	5,110	84
その他流動資産	462	286	△175
有形固定資産	12,527	12,346	△180
無形固定資産	219	319	100
投資その他の資産	3,804	3,665	△138
資産合計	42,129	43,995	1,866
仕入債務	5,762	5,287	△475
有利子負債	5,725	5,014	△711
その他負債	7,085	6,969	△116
負債合計	18,572	17,270	△1,302
株主資本	22,202	25,223	3,020
その他包括利益累計額	1,279	1,351	71
新株予約権	74	150	75
純資産合計	23,557	26,725	3,168
純資産比率	55.9%	60.8%	—
負債・純資産合計	42,129	43,995	1,866

ネットキャッシュ	6,322	百万円
D/Eレシオ	0.19	倍

※1 ネットキャッシュ＝現預金－有利子負債
 ※2 D/Eレシオ＝有利子負債/純資産

- 製品製造に必要な機械、型枠類を中心に、賃貸不動産建設、事務所移転、ソフトウェア投資等を行いました（有形・無形の別、主な投資実績は下表ご参照）。

	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	前年同期比
	実績	実績	
(単位：百万円)			
現金及び現金同等物の期首残高	7,706	10,893	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,401	2,173	△227
(うち減価償却費)	430	389	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262	△863	△600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205	△1,636	△1,431
現金及び現金同等物の増減額	1,933	△326	△2,260
現金及び現金同等物の期末残高	9,640	10,567	927

■ 主な投資実績（単位：百万円）

主な投資実績

有形固定資産の取得 ^{*1}	1,046
無形固定資産の取得 ^{*2}	53

*1：バルテクス(株)における機械、型枠、賃貸不動産（京都ホテル）建設、大阪事務所移転、(株)ウイセラにおける機械等

*2：バルテクス(株)における自社利用ソフトウェア開発等

1-7. 株主還元

- 安定的な普通配当に加え、適宜、特別配当・記念配当を検討するほか、自社株式の取得により、総還元性向30%を目処として、株主還元を実施する方針としています。
- 2022年3月期は、期中に5億円の自社株式取得を実施済みであり、期末配当予想は、1株当たり、65円としています。

		2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予定
自社株式取得総額（単位：百万円）		—	500	200	550
配当金	年間	70円	60円	90円	65円
	（期末配当）	50円	50円	60円	65円
	（特別・記念配当）	20円	10円	30円	0円
配当性向		9.8%	22.9%	21.0%	15.4%
総還元性向		10.9%	44.2%	26.5%	29.8%

*：2019年3月期は、負ののれん発生益を除いたものとして計算すると、配当性向は33.4%、総還元性向は37.0%と計算されます。

※1 配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり純利益

※2 総還元性向 = (配当金総額 + 期中の自己株式取得総額) ÷ 当期純利益

1. 2022年3月期 2Q 決算概要

2 第2次中期経営計画の進捗

参考資料

第2次中期経営計画 (2022/3→2024/3)

(基本方針)

- **主力事業の深堀りによるオーガニック成長の推進**
主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。
- **成長事業の育成と新たな収益機会の獲得**
更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会（新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業）の獲得に向けた取り組みを強化します。
- **持続的成長を可能とするための経営基盤整備**
前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取り組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

<VertexGroup-BHAG>
「安心・安全」を提供する企業
ブランドカNo.1へ

2028.10.1
設立10周年

<ブランドメッセージ>
安心のカタチを造る。

2021.4

第2次中期経営計画

2022/3→2024/3

- ・主力事業のオーガニック成長推進
- ・成長事業の育成と新たな収益機会の獲得
- ・経営基盤整備

2024.3



バルテクス
コーポレーション
設立

第1次中期経営計画

2020/3→2022/3

- ・シナジーによる利益率改善
- ・経営基盤整備

持続的成長を確実にするため
事業、経営基盤の両面の強化に
取り組む期間と位置付ける

2-2. コンクリート事業セグメントの取組み・進捗状況 ①

■ 主な施策・取組方針

1. 強みとなる技術開発力を活かした高付加価値製品群の提案
2. 顧客満足度を高める汎用品出荷対応センターの充実
3. 既設インフラの維持更新事業への深耕、浸水・減災製品、交通インフラ関連製品群の販売促進
4. 工場集約化による生産および出荷効率の向上

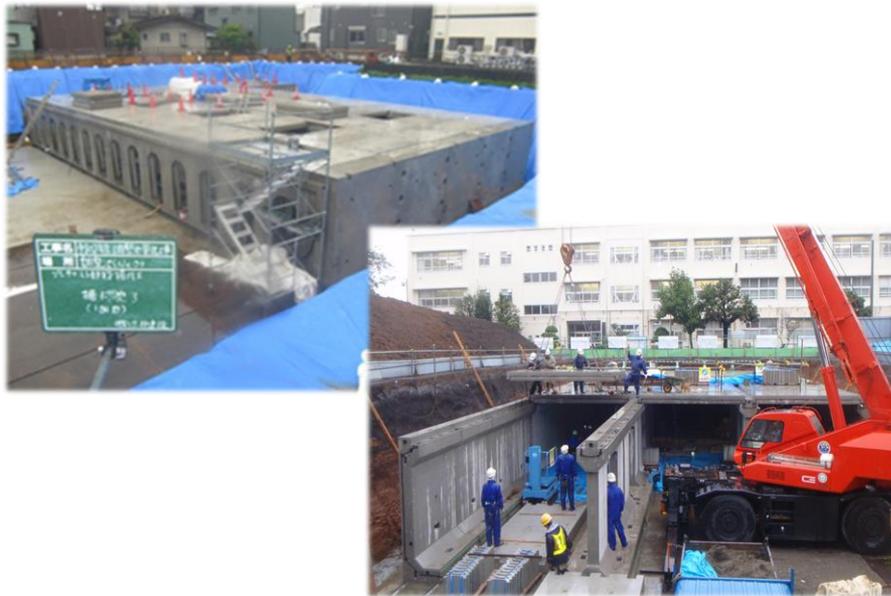
■ トピックス

国土強靱化

防災・減災

浸水・減災対策

当社が得意とする雨水貯留管、雨水貯留槽が各地で採用されました。



社会資本の維持更新

既設インフラの維持更新対策

老朽化した導水路の補修対策に、ASフォーム工法が採用されました。



2-2. コンクリート事業セグメントの取組み・進捗状況 ②

■ トピックス

プレキャスト化対応

大型製品対応

建設現場の人手不足を背景に、大型構造物のプレキャスト化の要望が増加しています。

3連9分割ボックスカルバート



分割式推進ボックスカルバート



長寿命化

環境負荷削減

現場条件に応じた最適提案

雨水貯留槽内の水の塩分濃度が高く、コンクリートの劣化が懸念されることから、当社で開発した、長寿命コンクリート「LLクリート」が採用されました。



LLクリートとは？

結合材に70%を超える高炉スラグ微粉末を配合したコンクリート。耐塩害や耐硫酸など**化学抵抗性が高く**、普通コンクリートと比べて**CO2排出量を70%削減**します。

5%の硫酸水溶液に56日間浸せきした実験結果



LLクリート



普通コンクリート

2-3. パイル事業セグメントの取組み・進捗状況

■ 主な施策・取組方針

1. 高採算製品群（高支持杭・SC杭）の販売促進と、低採算製品群の選別受注の推進
2. Withコロナに対応した営業活動の強化・推進
3. 既存工法の改良・新規工法の開発

■ 進捗状況

市場の回復は緩やかな状況ですが、上記の主な施策・取組方針のもとで、着実に取り組んでおります。

2-4. 防災事業セグメントの取組み・進捗状況

■ 主な施策・取組方針

1. 落石対策、崩壊土砂対策、雪崩対策分野での新製品開発
2. 既存製品の改良及びラインナップの充実
3. 交通インフラ分野への営業強化

■ トピックス

新製品開発

超高エネルギー吸収型防護柵「MJネット」規格追加

顧客要望より、新たに300KJ用と500KJ用を追加しラインナップを充実しました。



設備投資

BCP対策

九州バルテクス株式会社にて製造開始

生産拠点の効率化とBCP対策として実施しました。



国土強靱化

防災・減災

交通インフラへの落石対策

- 高速自動車道 (施主：西日本高速道路株式会社様)



- 鉄道 (施主：東日本旅客鉄道株式会社様)



2-5. その他事業セグメントの取組み・進捗状況

■ セラミックス事業

< 主な施策 >

新たな業界や成長分野への参入と生産技術の進化

■ トピックス

設備投資

生産能力強化・競争力向上

生産技術の進化に向けた設備投資を行いました。

ロータリープレス機



自動検査機



■ RFID事業

< 主な施策 >

保守・予防保全向けに加え、現場帳票のペーパーレス化
市場全体をターゲットに拡販

■ トピックス

新製品開発

現場帳票ペーパーレスシステムの販売開始

あらゆる業種・業界でペーパーレス化が可能となる汎用性の高いシステムをリリースしました。



2-6. グループ共通施策 ①

- 持続的成長を実現するため、下記施策を中心に、経営基盤の整備・強化に取り組んでいます。

発表時の施策内容

現在の進捗状況

施策1

- ◆ 人材開発プログラム・採用プログラムの再整備



- ・ベルテクスアカデミーの設立 (2022.3開催予定)
- ・人材開発グループの設置 <ベルテクス>

施策2

- ◆ 情報システム・ICTインフラの整備、DXの推進



- ・新基幹システム準備中 (2022.8～) <ベルテクス>
- ・人事・就業システム準備中 (2022.2～) <ベルテクス>
- ・新基幹システム稼働 (2021.4～) <ベルテクス建設>

施策3

- ◆ グループガバナンス体制・リスク管理体制の構築



- ・コンプライアンス研修の実施
(2021.6～8実施 グループ全社員対象 実施率100%)
- ・内部監査の強化
(1名増員、約150拠点/3年 計画通り実施中)

施策4

- ◆ 事業ポートフォリオマネジメント機能の整備・強化



- ・小規模事業の戦略・施策について精査実施
- ・事業ポートフォリオマネジメント機能は整備を継続

施策5

- ◆ サステナビリティ推進体制の整備



- ・サステナビリティ協議会の設置 (2021.10～実施中)

2-6. グループ共通施策 ②

● ベルテクスアカデミーの設立

ベルテクスグループの教育・研修機関の中心的位置づけとなるベルテクスアカデミーを設立。さらなる人材強化と人材育成を目指し、プログラムの整備・拡充を進める。

※2021年度第1回アカデミー研修（2022年3月開催予定）

- ・ 対象 ：ベルテクス(株)全社員
- ・ 応募形式：自主参加型



応募者数：124名（全社員の約1/4）

● サステナビリティ協議会の設置

20年先を見据えて、ベルテクスグループがより社会に貢献するために、私たちが進むべき方向性を議論し形作ることを目的に、グループ全社員を対象に公募・選考を行い、25名にてサステナビリティ協議会を構成。

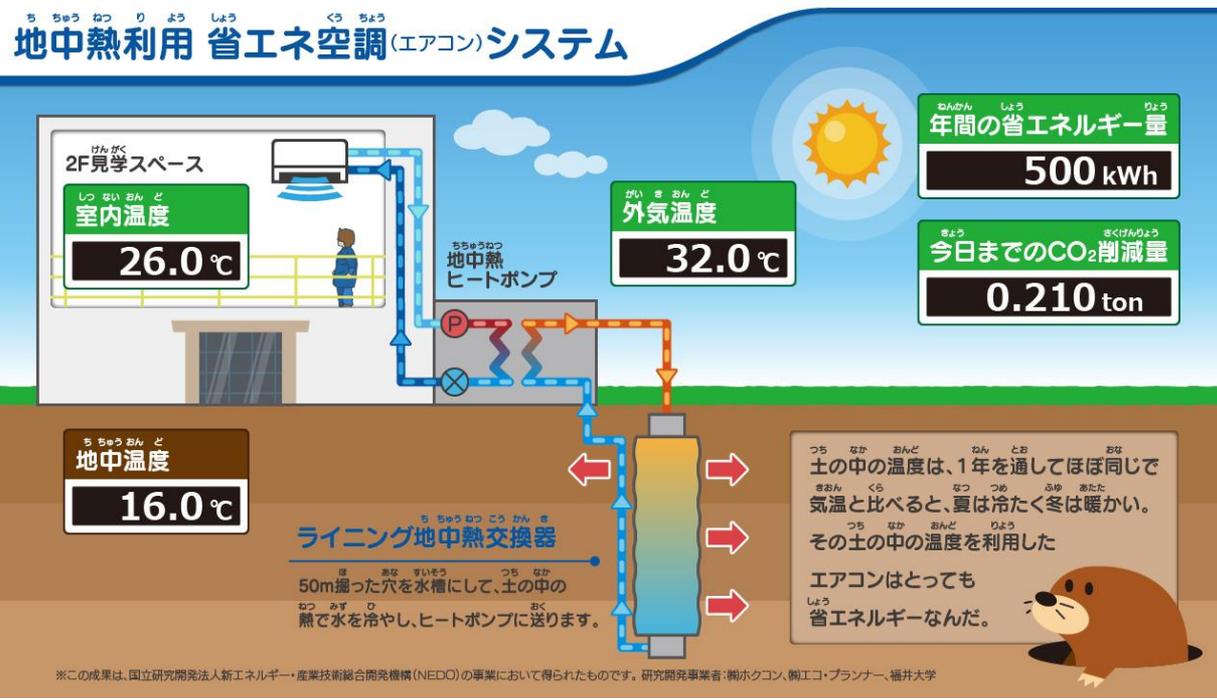
※第1回開催（2021年10月）・・・重要なマテリアリティを選定するためのワークショップを開催



2-7. その他トピックス ①

● 地中熱を利用した新たな冷暖房システムの商品化

当社が開発した、「ライニング地中熱交換器」は、“蓄熱量を確保しつつ、施工時の掘削コストを半減”
 することができ、さらに同じく当社が開発した、熱の利用効率を向上させる「熱収支制御ユニット」と
 組み合わせることで、空冷式と比べて**電気代約50%削減**、施工コストは従来工法から**約30%削減**され、
省エネ・低コストのシステム化を実現しました。



※この成果は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の事業において得られたものです。研究開発事業者: 朝日ホールディングス、朝日エレクトロニクス、朝日エレクトロニクス、朝日エレクトロニクス

2021年9月10日
 日本経済新聞 北陸経済紙面 / 電子版

地中熱使い冷暖房 商品化

地中熱冷暖房システムのイメージ

室内機
ボンプ
制御ユニット
地中熱交換器 (地下CO₂メーター)
貯水

熱収支制御ユニット

地中50m掘削して設置した地中熱交換器 (掘井機)

省エネ・低コスト両立

開発や実証を続けてきた。同社はベルテックスコーポレーション傘下のボルクコン (福井市) とゼニス羽田 (東京・千代田) が合弁して月に1回、地中熱利用の道路脇システムなど、建設現場で実証実験を進めている。ボルクコンは、地中熱利用の道路脇システムなど、建設現場で実証実験を進めている。ボルクコンは、地中熱利用の道路脇システムなど、建設現場で実証実験を進めている。

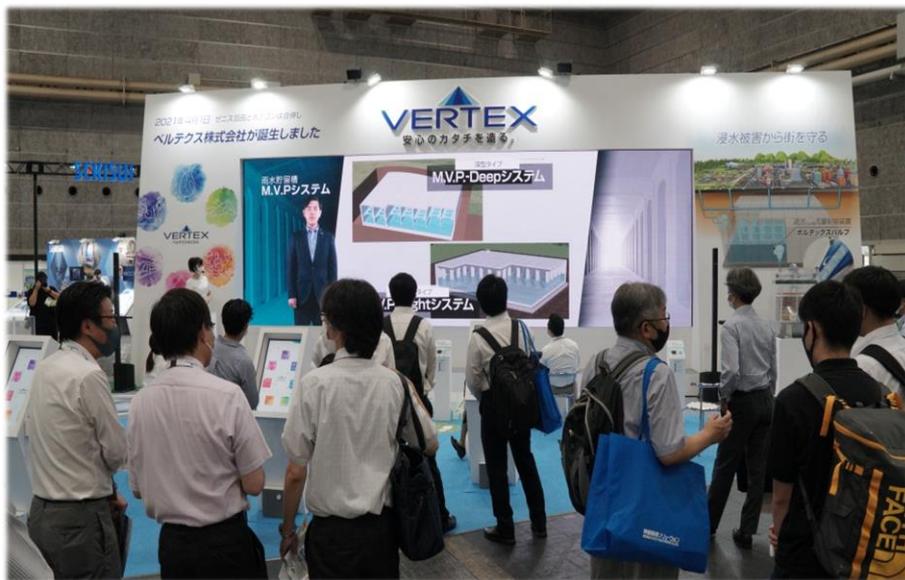
2-7. その他トピックス ②

● 展示会出展

バルテクスグループ

下水道展'21大阪 (8/17~20)

- ・浸水対策製品
「雨水貯留槽 M.V.Pシステム」「ボルテックスバルブ」「落差マンホール」
- ・耐震対策製品 「SJ-BOX」「災害用トイレシステム」
- ・落石対策製品 「ループフェンス」「M J ネット」
- ・長寿命化・環境負荷低減対策 「L L クリート」
- ・マンホール維持修繕工法 「エポ工法」



バルテクス株式会社

E E 東北'21 (6/2~3)

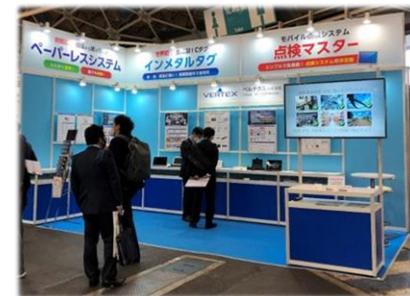
- ・浸水対策製品
「ボルテックスバルブ」「落差マンホール」
- ・落石対策製品
「ループフェンス」「M J ネット」



バルテクス株式会社

名古屋ものづくりワールド (4/7~9)

- ・帳票ペーパレスシステム
「点検マスター」「帳票達人」
- ・金属RFIDタグ「インメタルタグ」



アイビーソリューション株式会社

interop Tokyo2021 (4/14~16)

- ・ネットワーク認証サーバ「iBAQS-FX」
- ・ネットワーク接続制御サーバ
「GoNET」
- ・消防向け勤怠管理システム「FIMA」



2-7. その他トピックス ③

● 働きやすい職場づくり

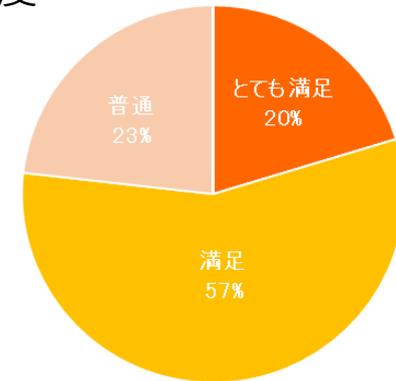
働き方改革の一環として、オフィス環境の改善にチャレンジしました。

満足度調査より、多くの従業員からオフィス環境改善の効果があったと回答がありました。



従業員満足度

77 %



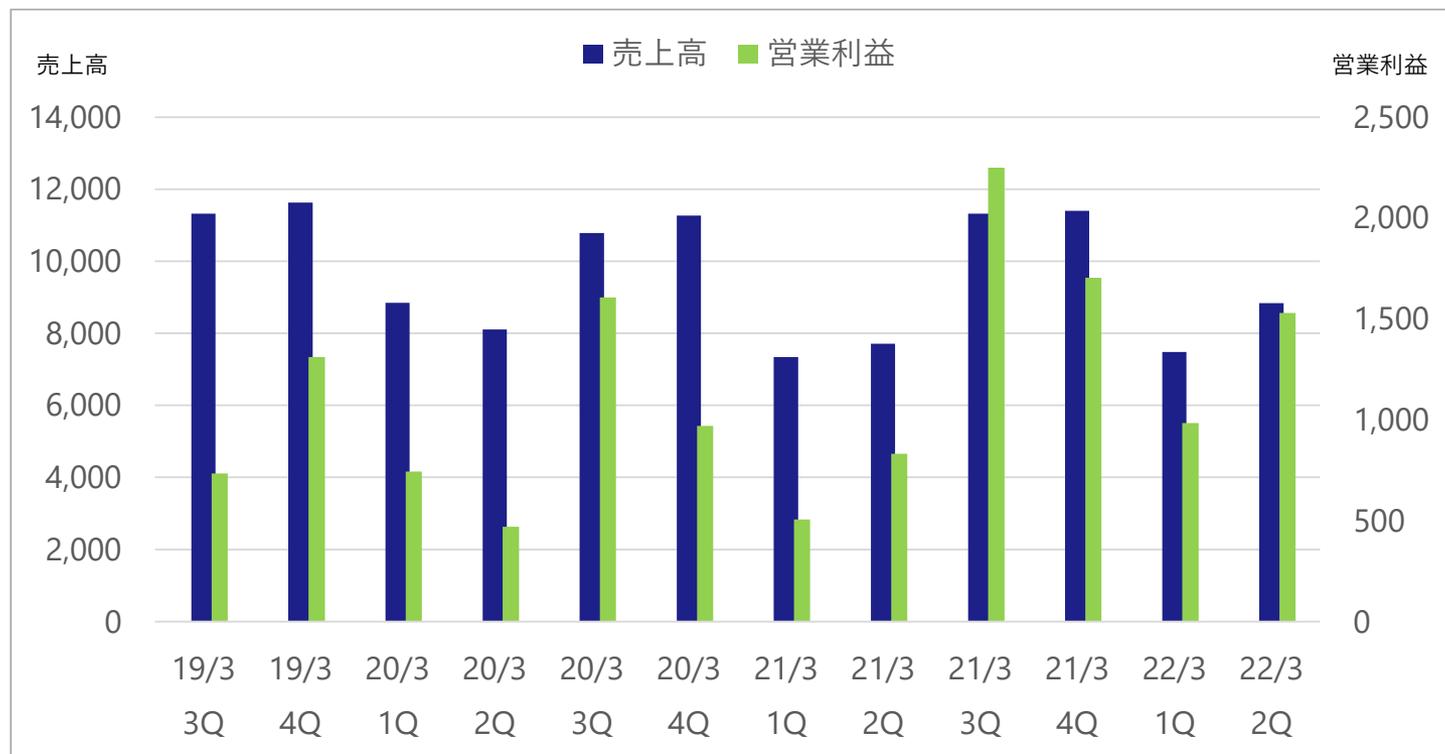
1. 2022年3月期 2Q 決算概要
2. 第2次中期経営計画の進捗



参考資料

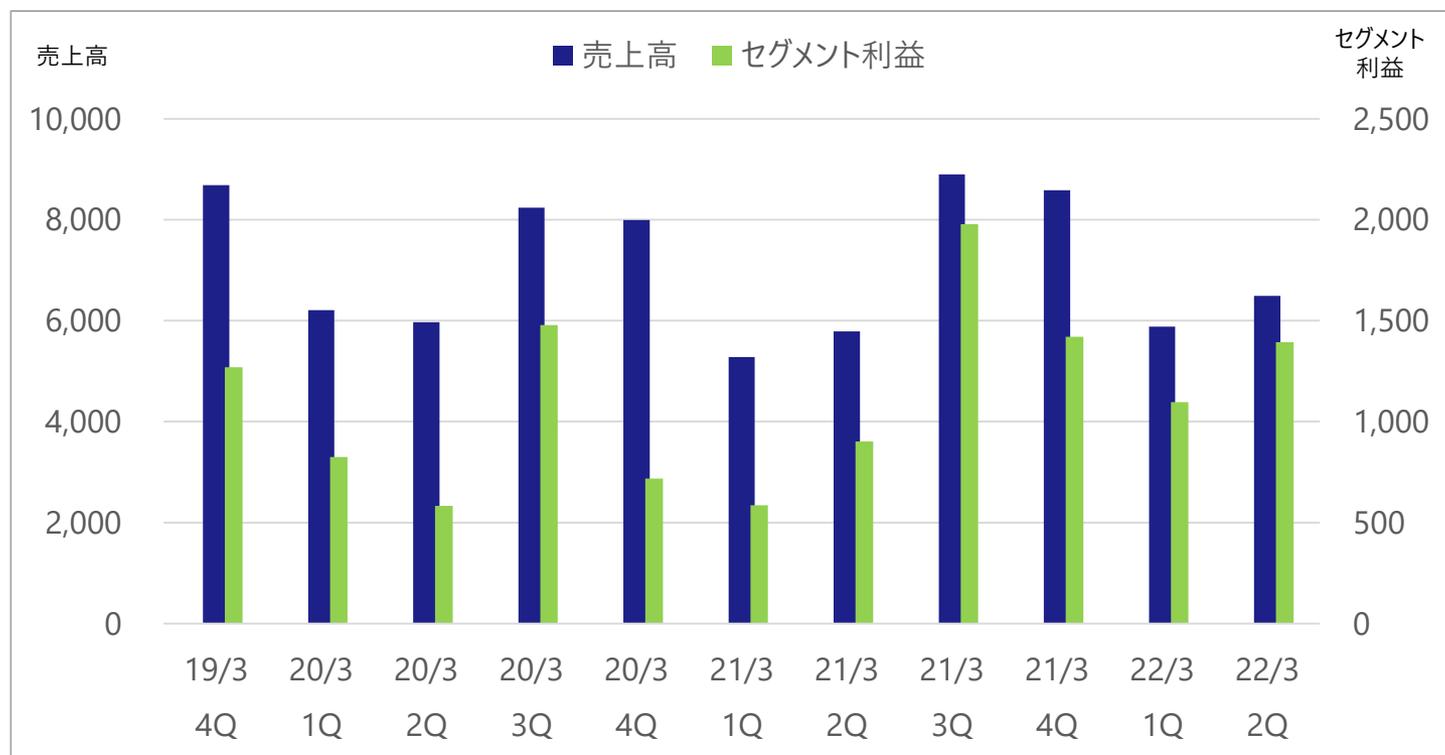
四半期別業績

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
売上高	11,323	11,626	8,850	8,108	10,786	11,271	7,340	7,706	11,320	11,396	7,483	8,836
売上総利益	2,388	2,657	2,212	2,023	3,068	2,844	1,928	2,282	3,610	3,428	2,463	3,009
売上総利益率	21.1%	22.9%	25.0%	24.9%	28.4%	25.2%	26.3%	29.6%	31.9%	30.1%	32.9%	34.1%
販管費	1,654	1,347	1,469	1,553	1,461	1,874	1,421	1,451	1,361	1,725	1,479	1,480
営業利益	734	1,310	743	469	1,606	970	507	832	2,249	1,704	984	1,530
営業利益率	6.5%	11.3%	8.4%	5.8%	14.9%	8.6%	6.9%	10.8%	19.9%	14.9%	13.2%	17.3%



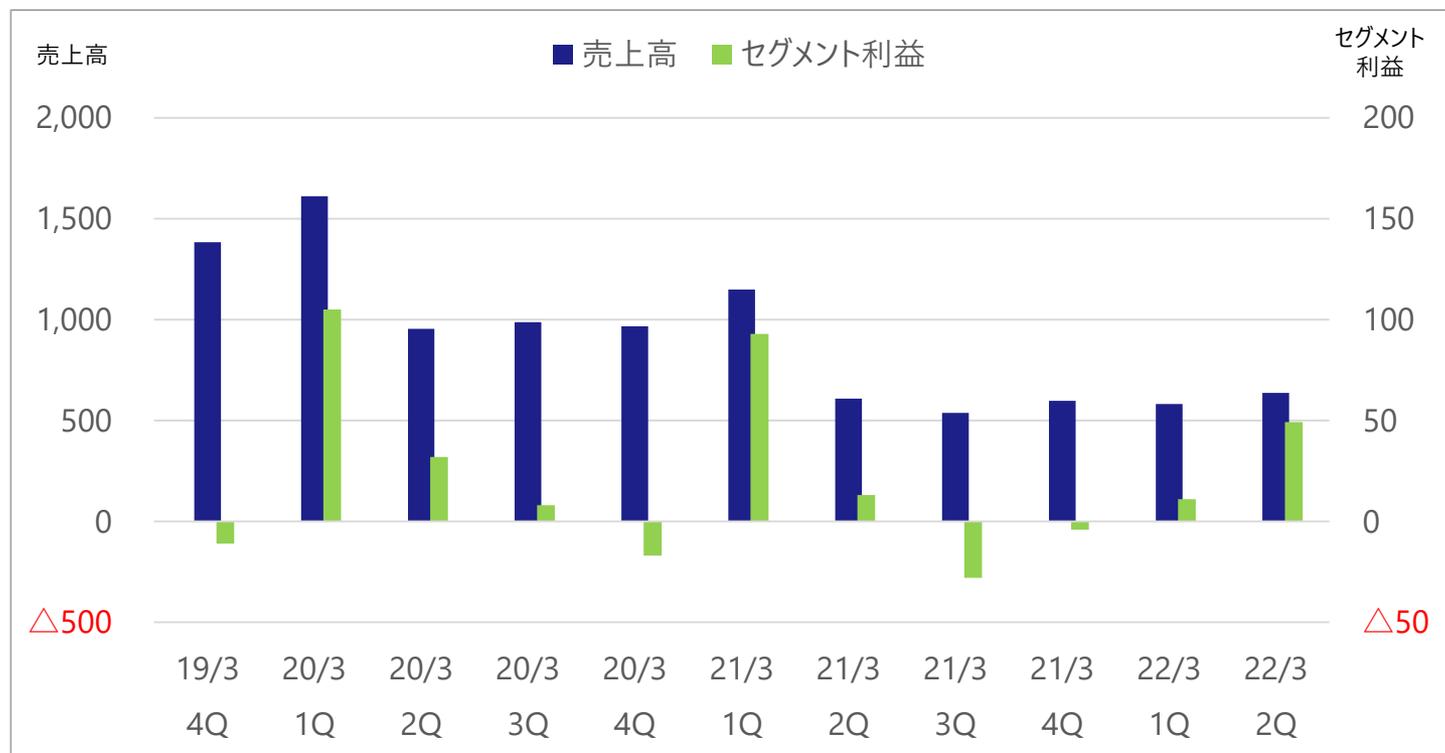
四半期別、セグメント別業績 ①コンクリート

■ コンクリート (単位：百万円)	'19年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期		
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
売上高	8,685	6,209	5,969	8,238	7,998	5,282	5,790	8,899	8,586	5,883	6,490				
セグメント利益	1,269	825	582	1,479	717	585	901	1,979	1,420	1,097	1,394				



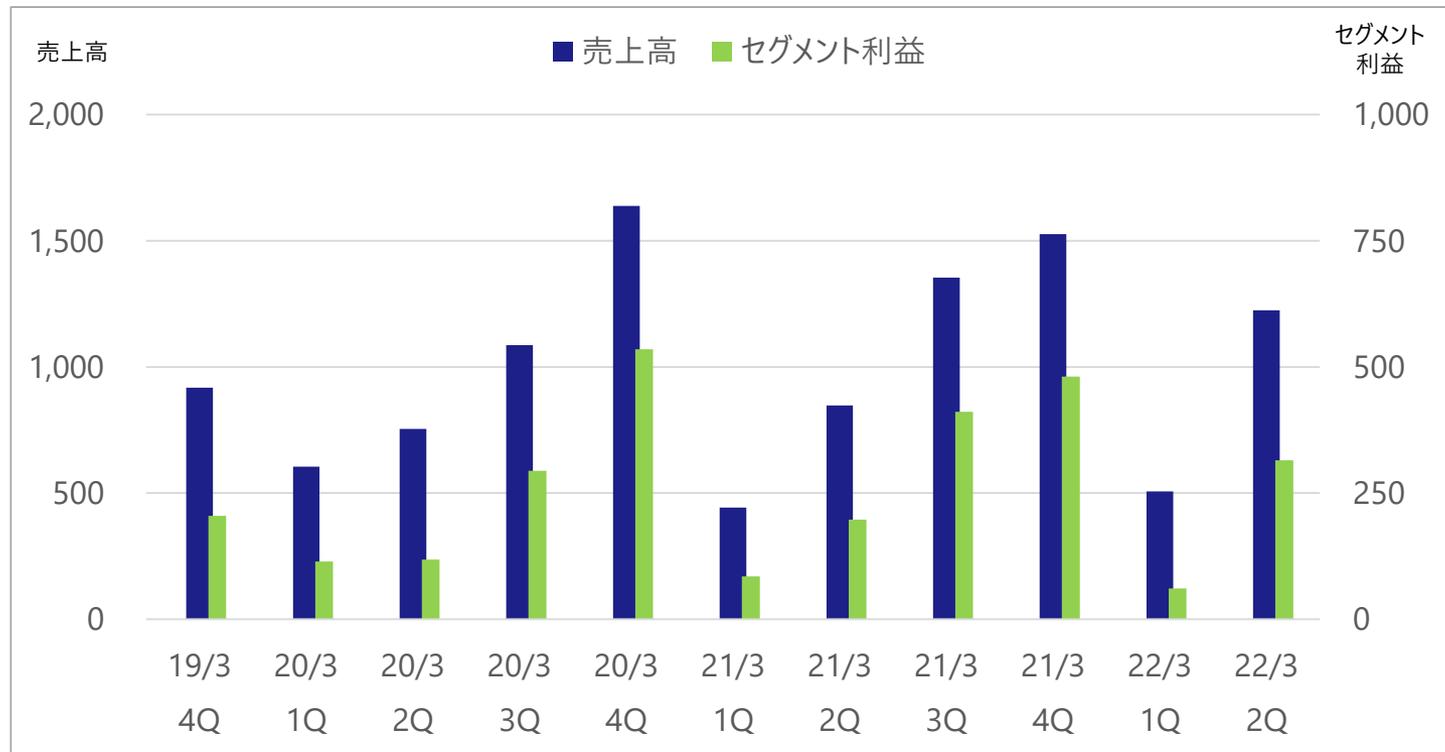
四半期別、セグメント別業績 ②パイル

■ パイル (単位：百万円)	'19年3月期		2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
売上高	1,383	1,612	954	987	967	1,149	609	538	597	582	637	
セグメント利益	△11	105	32	8	△17	93	13	△28	△4	11	49	



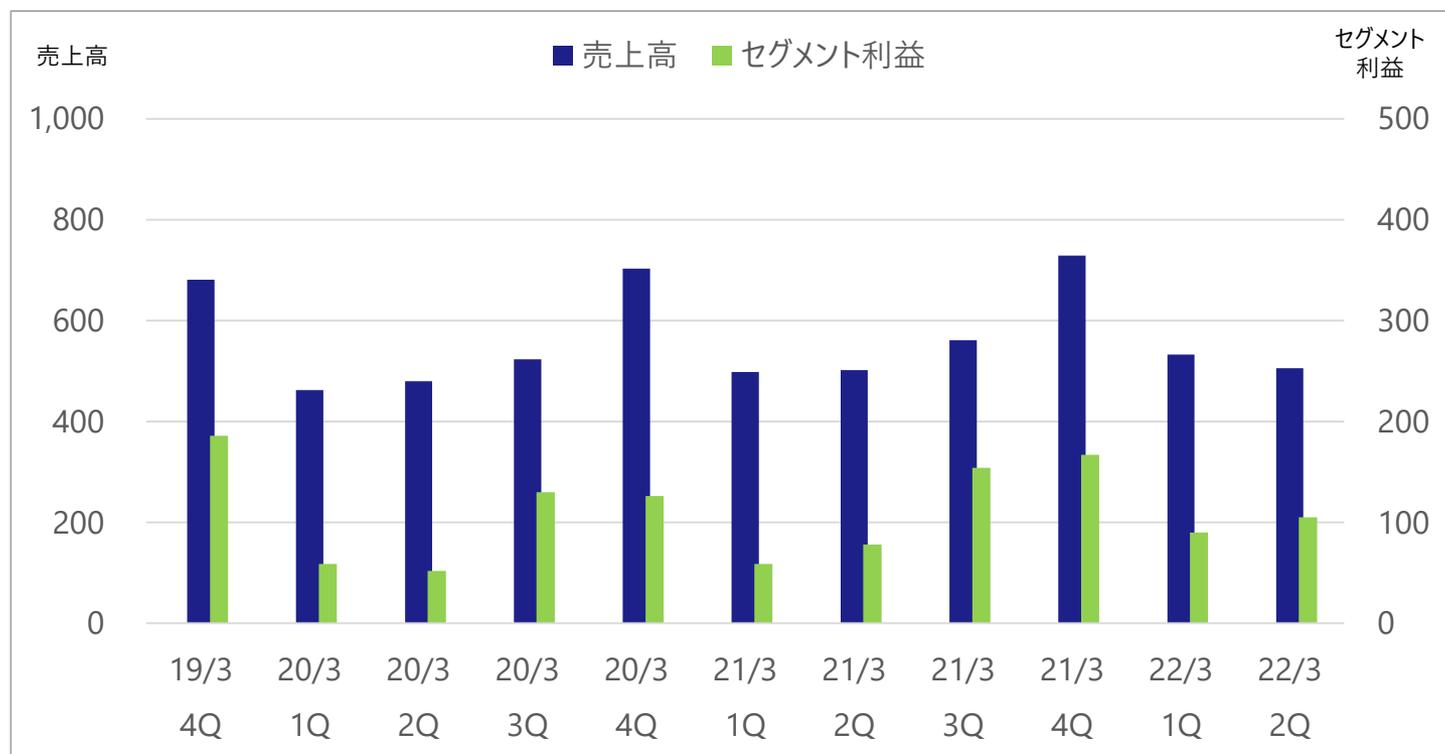
四半期別、セグメント別業績 ③防災

■ 防災 (単位：百万円)	'19年3月期		2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
売上高	918	605	754	1,086	1,638	442	847	1,354	1,527	506	1,224	
セグメント利益	205	114	118	294	535	85	197	411	481	61	315	



四半期別、セグメント別業績 ④その他

■ その他 (単位：百万円)	'19年3月期		2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
売上高	681	462	480	523	703	498	502	561	729	533	505	
セグメント利益	186	59	52	130	126	59	78	154	167	90	105	



<お問い合わせ先>

株式会社ベルテクスコーポレーション

経営企画部

Tel : 03-3556-2801

本資料中の業績予想、事業計画等に関する記述は、本決算発表日時点における合理的な将来予測に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因で変更される場合がございます